

しらねだいすけ

Shirane Daisuke
Four of policy 2022

やります！
できます！
届けます！

県政報告 Vol.12



12月定例会閉会 エネルギー価格・物価高騰等の影響に関連する補正予算を編成

12月定例会（12月2日～12月22日）では、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援策として、115億2,695万4千円（第5号）、追加として、129億1,642万8千円（第6号）の補正予算が計上され審議可決されました。

内容としましては、高騰する光熱費の影響を緩和するため、緊急措置として県内医療機関などに対し病床1床あたり4万5,000円と無床診療所（歯科等）には1施設4万円を補助するための費用におよそ38億3,600万円、さらに燃料費が高騰する中、県内公共交通機関の事業者（バス・タクシー）を支援するための費用（令和5年3月まで）として、約4億7,000万円となっています。

また、埼玉高速鉄道の延伸に向けた取組の推進としての調査費、国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に基づき、迅速に対応すべき事業について補正予算が追加され、これにより岩槻駅までの延伸が一步前進します。



<p>県内地域公共交通事業者に対する支援</p> <p>4億7,230万円</p> <p>概要 県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を引き続き支援するため、燃料費高騰の影響分を補助(6か月間分)</p> <p>補助対象等 ▶ 補助対象: 乗合バス 2,400台 タクシー 5,900台 ▶ 対象期間: 令和4年10月から令和5年3月まで</p> <p>県内医療機関等に対する支援</p> <p>38億3,670万円</p> <p>概要 光熱費等の価格高騰の影響を緩和するため、緊急的措置として県内医療機関等に対し補助</p> <p>補助内容 ▶ 病院、有床診療所、分娩取扱助産所: 45,000円/床 ▶ 無床診療所(歯科含む): 40,000円/施設 ▶ 施術所(あん摩マッサージ指圧はりきゅう、柔道整復): 20,000円/施設</p>	<p>企業の価格転嫁に向けた環境整備</p> <p>2,534万7千円</p> <p>概要 サプライチェーン全体の共存共栄を図り、県内企業の稼げる力の向上等につなげるため、高騰する原材料費等の適切な価格転嫁を促進</p> <p>▶ パートナリシップ構築宣言の促進や実態調査等の実施 ▶ 価格交渉に役立つ情報を提供する支援ソールの作成 ▶ 価格転嫁に関する研修会の開催や広報の実施</p> <p>県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減</p> <p>2億 660万3千円</p> <p>概要 農業生産者の支援及び県民の家計負担の軽減を図るため、県産農産物を使ったキャンペーンを実施する量販店等に対し補助</p> <p>▶ 直売所等での県産米増量キャンペーン: 2割増量 ▶ 量販店でのポイントキャンペーン ▶ 県産農産物購入者にポイント2割付与</p>
---	--

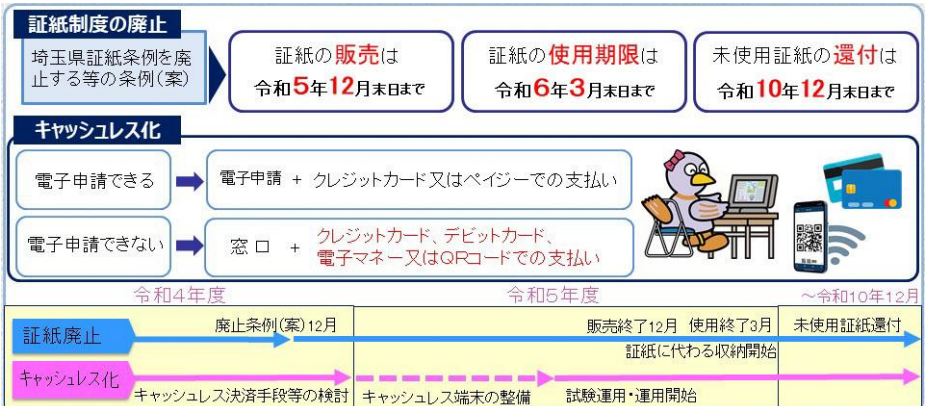
キャッシュレス決済の推進 埼玉県証紙条例等を廃止

しらねの所属する企画財政委員会では、運転免許証更新の手数料や入学試験の受験料を支払う際、現金の代わりに納めることができる埼玉県証紙条例を廃止する等の条例（案）を審議し賛成多数で可決しました。

収入証紙は令和5年12月末で販売を終了し、使用期限は再来年の3月末までとなり電子申請プラスキャッシュレス決済を進めていく方針です。

ちなみに、収入証紙の利用割合の6割を占めるのが運転免許証の新規発行料や更新料であります、しらねの質疑で、窓口払いで

現金は取り扱わないものの、しばらくの間は現金でも振込やコンビニ払いを検討することが判明しました。他県では現金とキャッシュレスを併用した場合、8割の方は現金払いになるとの事です。また、9月定例会企画財政委員会でしらねの質疑で、令和3年度の証紙収入額が約87億円で手数料経費が約1億円程度であることがわかりました。



情報技術の活用とDXの推進について

地方創生・行財政改革特別委員会では、情報技術の活用とDX推進について、執行部から説明後、質疑応答が行われました。

しらねからは、9月定例会の一般質問でも扱ったAIチャットボットについて質疑しました。AIチャットボットの利用率ですが、アクセス数（R.3は約28万件）を指標としておりますが、県民にとっては、問い合わせの解決率が大事であり、一般質問の答弁では35%という極めて低い値になっております。

AIと言う特性は、「過去の情報の蓄積によって判定するため、新しい事柄がチャットボットに入力された場合に解決できないという問題」があります。執行部側からは、AIの機能を改善させるのは容易ではなく、そもそも県民からの問い合わせを解決する手段としてふさわしいかどうか今一度検討し、埼玉県独自で構築した検索エンジンの更なる活用をしていきたい。と言う答弁を引き出しました。

白根は一般質問で、このAIチャットボットより、検索エンジンの利用の方が的確な回答が出る事を指摘し改善を要望しました。

次に、行政手続きのオンライン化の進捗状況について説明があり、オンライン手続き利用率はR.3度で28.3%という結果でありました。ただ、中々利用率が上がらないのは、戸籍記載事項の添付を必要とする等、法令でオンライン化を進めようとしても阻害要因となっている部分があるとのこと。私からは、具体的にどの部分が、またどのくらいの阻害要因があるのかと質疑した所、現在調査しているとの回答があり、早期の調査して改善を図り、他部局との連携強化を求めました。

AIを活用した主な事例

- AIチャットボット「埼玉コンシェルジュ」
アクセス数 約3.3万件（R2）→約28万件（R3）
- 庁内ヘルプデスクAI
アクセス数 約3.6万件（R2）→約5.2万件（R3）

(1) 行政手続のオンライン化

時間の制約がなく、パソコン等から気軽に申請できる利便性から、利用件数は年々増加。コロナ禍では「対面せず非接触で申請ができる」安全性も注目され利用が増加。

取組

手続のオンライン化の進捗状況

- 行政手続のオンライン化率
53.3%（R3年4月）→67.3%（R4年4月）
- オンライン手続の利用率
21.5%（R2年度）→28.3%（R3年度）

コロナ禍における主な活用例

- 新型コロナウイルス感染症の療養証明書発行申請
- 新型コロナウイルス抗原検査キットの配布申込

電子申請システム利用件数



年明け以降の観光応援キャンペーンの実施について

■ 「2023 全国版 旅して！埼玉割」観光応援キャンペーンの実施

全国的な観光キャンペーンである全国旅行支援の埼玉県版、年内までの全国旅行支援から割引率等を変更し、令和5年1月10日（火）から令和5年3月31日（金）までの期間で実施。

■ 「とくとく埼玉！」観光応援キャンペーンの延長

令和4年12月27日（火）までの期間で実施している埼玉県独自の観光応援キャンペーン「とくとく埼玉！」観光応援キャンペーンを、クーポン券の配布額を最大2千円に増額して、令和5年1月10日（火）から令和5年2月28日（火）までの期間で実施。

※詳細はHPをご覧ください



Profile ～しらねだすけの足跡～ **実績**：SRと東京メトロの一日乗車券値下げ、屋内50Mプール川口市に設置、洪水ハザードマップの推進、あんしん賃貸住宅の拡充等、(仮)川口北警察署の新設
1979年5月13日生まれ、川口市朝日出生、十二月田（しらすだ）小・中学校卒業、正則学園高校卒業、ボストン大学（政治科学学部）卒業<留学中マンチェスター市長室でインターン経験>、富士通（株）入社し、営業とSEのビジネス支援部隊に配属→退社、2007年の統一地方選挙で市内交通網（特に、コミュニティバス路線網）の再構築、市議会の見える化など市政の改善を目指し市議会議員に立候補、2位(4764票)で市議会最年少(27歳)当選を果たす。鳩ヶ谷から埼玉県議会議員選挙立候補するも惜敗。捲土重来を期し、翌日から活動、石田勝之元衆議院議員秘書を経験し、2015年合併後初の新川口市選挙区で埼玉県議会議員に立候補するも次点、大野もとひろ参議院議員事務所スタッフ。朝日2丁目副町会長歴任。2019年の埼玉県議会議員選挙で初当選。現在：学習塾等を経営、川口市消防団員、川口市立十二月田中学校同窓会会長、NPO法人メディカルヘルスケア療法協会顧問、川口むさし野R、川口YEG、川口市ワンパウンドふらば～るパレー参与、(公社)川口青年会議所卒業【令和4年度：企画財政常任委員会、地方創生・行財政改革特別委員会 所属】

埼玉民主フォーラム川口支部 TEL:048-229-0461 FAX:048-229-0462
〒332-0001 川口市朝日2-17-7 http://www.d-shirane.jp

